

<h1>第 187 号</h1>	<h1>Super Highway</h1>	
<p>発行日 2025. 4. 2</p>	<p>J R 東労組バス関東本部</p>	<p>J R 東労組ホームページ</p>

4月の食品値上げ 4225 品目、家計負担増続く

国内食品主要社 195 社が、4月に値上げ予定の飲食料品が 4225 品目に上り、値上げ率は平均 16%になる見込みだという。さらに、9月までに値上げが決まっている食品はすでに 1万 1707 品目に達し、最大で年間 2 万品目前後に到達する可能性があるとしている。原材料費だけでなく、物流費・人件費などの上昇を理由に値上げが増えており、値上げの勢いは前年に比べて大幅に強まっているとしている。政府の補助がなくなることから、4月使用分の電気・ガス料金も大手全社で値上がりする。

総務省によると、2月の日本の消費者物価指数は、前年の同月と比べて 3.7%上昇しており、G7（主要 7 か国）のインフレ率比較では、4 カ月連続で日本が首位となった。もう、長期経済停滞した、いわゆる失われた 20 年・30 年ではないことを確認したい。

厚生労働省の「毎月勤労統計調査 2024 年分結果速報」において、現金給与総額は前年比 2.9%増の 34 万 8,182 円となり、33 年ぶりの高い伸びとなったものの、実質賃金指数は、前年から 0.2%の減少となり、3 年連続での前年比マイナスとなった。

バアの額面に惑わされることなく、実質賃金の上昇を意識しなければなりません！

経済の正常化を進めるには、長期的に賃金の上昇が物価の上昇を上回ることが不可欠とされる。



J R バス 関東 で 働く 仲間 を 一つ に !